

## 【1 分解説】Peppol(ペポル)とは？

企画総務部 池田 安広

---

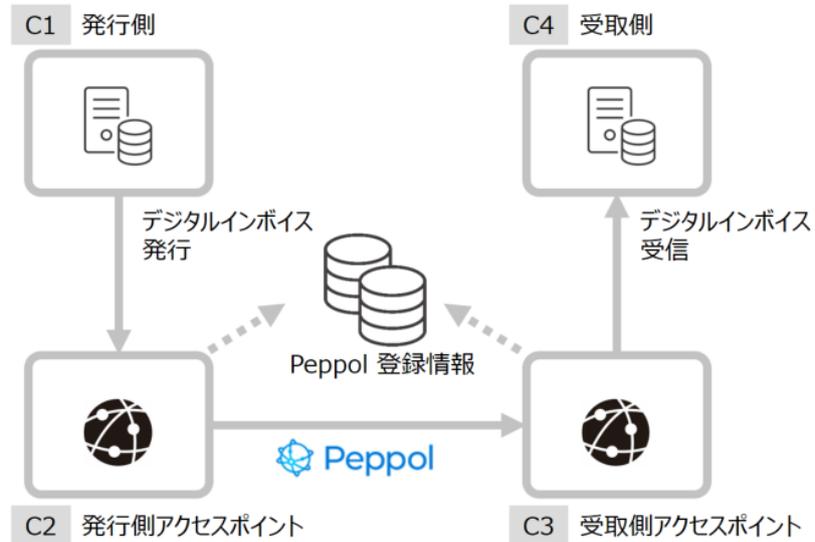
Peppol (ペポル) とは、企業間の受発注や請求などに関わる電子文書をネットワーク上でやり取りするため、文書の仕様やネットワーク、運用に関するルールを定めた国際規格です。2023年10月にインボイス制度が導入されますが、デジタルインボイスにおける明確なフォーマットが存在しないため、Peppol が標準仕様に採用され、日本版 Peppol として公開されています。

Peppol は、「4 コーナーモデル」と呼ばれる構造 (アーキテクチャ) となっており、電子文書が発行側から受取側に届くまで、①電子文書の発行、②発行した電子文書をアクセスポイントに送信、③受取側のアクセスポイントを経由、④電信文書の受取といったステップとなっています。発行・受取側では、このような構造を意識せず利用することが可能となります。また、大掛かりなシステム開発といった投資負担もなく導入することも可能となります。

日本版 Peppol では、取引先と締め日を設定した払い方をする合算請求や、購入側が仕入明細書を送付するなど、文書フローが逆転するような日本固有の商習慣を反映したフォーマットも選べるように考慮されています。

現行商習慣を維持しつつ、デジタルイゼーションによる業務プロセスの効率化が可能となるデジタルインボイスの要です。

資料 Peppol アーキテクチャ



(出所) デジタルインボイス推進協議会資料をもとに第一生命経済研究所作成

## 関連レポート

・デジタルインボイスとは？(2023年4月) <https://www.dlri.co.jp/report/ld/236796.html>